

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護業務で役立つポイント等を付加して提供しています。点検ツールとしてお役立てください。

No.1

日本医療機能評価機構「医療事故情報収集等事業」から、2021年3月26日に、2020年の1年間に報告された「新型コロナウイルス感染症」と何らかの関連がある医療事故事例の分析結果が報告されました。

報告書 No.64 では、2020年の1年間に報告された医療事故事例のうち「新型コロナウイルス感染症」と何らかの関連のあった56件が分析され、主な分析内容を下記に示します。

患者は、70歳代以上の高齢者が多

新型コロナウイルス感染症への対応を目的としたルール
24件では、面会・付き添い制限が影響した事例
が10件（うち、自殺企図6件）、院内環境の変更が影響した事例（転倒・転落）が5件、
ルール・手順の変更が影響した事例4件（うち、リモート診察時の検査画像や処方の確認漏れ2件）などがあった。

本報告書では、報告された各事例について発生の経緯や要因などが記載されていますので参考にしてください。

日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業報告書第64回報告書



https://www.med-safe.jp/pdf/report_64.pdf

予想していなかった感染症が蔓延するという経験したことのない状況下で報告された事例から学ぶことは多く、今後の対策立案や教育・研修に活用できると考えられます。

以上